

山笑う、春も爛漫! 山陰路

see!

大山中海エリア・イベント情報紙

FREE
無料 5号

奇数月・3万部

2006

3

March

4

April

<http://www.daisenking.net>

大山王国

NPO大山中海観光推進機構

<http://my.sanin.jp/dnkankou>

see専用アドレス: see@daisenking.net



神々のふるさと山陰の、
神々が宿る樹、
「桜」物語り。

お花見特集

春は花見で花より団子。日本文化を象徴する桜とお花見の起源は遠い昔、弥生時代(紀元前4〜3世紀頃)に、中国大陸から渡ってきた稲作の文化とともにあったようです。サクラの語源も諸説あるようですが、先祖の霊でもあり山の神、農耕の神でもある「サ神」が春になると、里に降りて宿られるクラ(座)が、微淡紅色の花咲き誇るこの樹々であり「サクラ」となったという説が有力。因みに、サ神様にお供えするのがサケ(酒)、サカナ(肴)、サイ(菜)、それらを盛る器がサラ(皿)、その他にも例をあげればいろいろあるようです。

古代人は桜の花を暦代わりに稲を植える時期を知り、花の咲く様を見てはその年の米の出来具合を占い、満開の桜を見上げてはその神様にお酒など奉げ物をして豊作を祈ったもので、「花見」は今日のような娯楽的な行事としてではなく、当時は真摯な稲作儀

礼としてあったものでしょう。

平安時代以降、足利義満や豊臣秀吉など、時の権力者たちは競って桜を愛で、江戸時代ともなれば大衆文化の高揚とともに、桜は民衆のものに。それが全国に広がり、明治以降、品種改良でソメイヨシノが登場するや、ますます一般庶民にも浸透し、こうしてお花見は日本の春の大切な行事となってきたのだとか。

お花見はもともと神々への由緒ゆかしい信仰のしるし。

多くの古代遺跡を擁するここ山陰は神々のふるさと。私たちも神々への祈りとともに、ン十年、ン百年の昔、有り難くも桜の樹々を植えて頂いた先人にもまた感謝の意を捧げつつ、桜吹雪のもとで 大いに飲んで食べて語らいましょう。今年の春は桜三昧。さあ、どちらの花処を訪ね歩きましょうか。



南部町 法勝寺川沿い〜城山

法勝寺川の土手には、約2kmにわたって約千本もの桜並木が続き、川にせり出すように咲く姿は迫力満点。川土手は絶好のお花見ポイント。法勝寺川のほとりにある城山にも桜が咲き乱れ、夕刻ともなれば川沿いから城山にかけて一面にライトアップされた夜桜は、何とも幻想的です。

○法勝寺を訪ねるなら、8日〜9日に展示される「一式飾り」も必見!!

南部町 緑水湖周辺

緑水湖をぐるりと囲む桜の大パノラマ。湖とのコントラストも見事です。湖畔の緑水園やレストハウス、バーベキューハウスはお花見にもうってつけ。

お問合せ●TEL.0859-66-5111



安来市 安来公園

「安来千軒名の出たところ社日桜に十神山」と、安来節にも唄われる社日桜。明治初期に植えられたサクラは、開花時には500本もが社日の山を覆いつくし、またツツジも咲き競う山陰でも有数の桜の名所です。園内には安来節発祥を記す記念塔が建てられ、4月9日には、安来節初代家元・渡部お糸をしのぶ「お糸まつり」も開催されます。

●3/26(日)〜4/16(日) 期間中ライトアップ

●4/9(日) お糸まつり 10:30〜

お問合せ●TEL.0854-23-3340

2Pへつづく

INDEX



● お花見特集／米子、境港、大山町から日野〜日 2p
南、松江に至る近隣の桜の名所とイベント情報

● 山陰花辞典／梅や菜の花、チューリップ、ツツジや
藤の花など、桜以外の花の名所と関連イベント情報 3p

● 春のスペシャルイベントPick up! 4p
春はステージイベントも盛りだくさん!どれもこれも見逃せない!!

● 3〜4月・保存版イベントカレンダー 5p

● 季節の味だより 6p
春の山菜あれこれ、ほたるいかりを取り上げました。

● 美術館&ギャラリー保存版カレンダー 6p〜7p
地味だけれどキラリと光る企画展を紹介。

● 旬の話題&トピックス 8p
4月で100回目を迎える境港サロンコンサート(光長
真理恵さん)や、美保関の青柴垣神事、大山王国がイチ
オシの「雪の回廊ツアー」など盛りだくさん!!